

第6回「アルミと健康」フォーラム開催報告（速報）

「アルミニウムと健康」連絡協議会では、去る 10 月 17 日(土)に第 6 回「アルミニウムと健康」フォーラムを星陵会館(千代田区永田町)にて開催致しました。開催結果概要は、以下のとおりです。

1. 開催日時 平成 21 年 10 月 17 日(土)
2. 場 所 星陵会館(千代田区永田町)
3. 主 題 「生活習慣と認知症」
4. 参加人数 283 名（内訳：一般 252 名 関係者 31 名）
5. プログラム
司会者 田平 武先生（順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学 教授）
講演 1 「生活習慣と認知症：オーバービュー」
田平 武先生（順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学 教授）
講演 2 「日常の食事とアルミニウムの摂取」
福島 正子先生（昭和女子大学大学院生活機構研究科 教授）
講演 3 「生活習慣と認知症－食事・運動・脳への刺激 年代に応じた予防戦略の違い」
植木 彰先生（自治医科大学さいたま医療センター神経内科 教授）
講演 4 「インターバル速歩で体も心もどんと来い熟年！」
能勢 博先生（信州大学大学院医学研究科・スポーツ医科学分野 教授）
講演 5 「認知症の診断と治療の実際」
荒井 啓行先生（東北大学加齢医学研究所 教授）

・質問票への回答含め全体討論

6. 概 要

本フォーラムは、認知症とりわけアルツハイマー病に関する、科学的視点に立った最新の正しい情報を広く一般の方々に提供することを目的とし、2 年に 1 回開催している。今回は「生活習慣と認知症」というテーマで、日常の食事や運動による予防、診断と治療の実際について専門の先生方から講演頂いた。参加者は最後まで熱心に聴講された。アンケート結果では、新しい情報が得られ大変参考になり有意義であったという感想が大勢を占めた。またアルミと認知症は関係ないことを知り安心した。アルミの鍋を捨てようと思ったが、誤解と解りよかったなどの感想があった。一方でアルミを強調しすぎると違和感があるとの意見もあった。認知症予防には「バランス良くうまいものを食べ、適度に運動し、感謝の気持ちを忘れずに」を心がけることが結論。

＊講演録は後日発行予定



健康フォーラムの会場風景

第 6 回「アルミニウムと健康」フォーラムに関する問い合わせは、

「アルミニウムと健康」連絡協議会事務局 田尻 まで <電話：03-3538-0221>